

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

▶シニア世代の講座のご案内 「お正月飾り(スワッグ) 作り講座」参加者募集

●日時
12月20日(水) 午前10時～正午

●場所
町農業研修センター「ろくじ館」

●参加料
1,000円(当日に集金)

●講師
村上 光治さん(下豊内区)

●準備物
花バサミ

●定員
10人程度

●公民館講座や町民大学などに関する
お申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)



▲出来立ての米粉料理を食べる参加者の皆さん

町公民館出前講座 米粉料理をつくらう

11月19日(日)北早川公民館で、子ども会と住民50人が出前講座で米粉料理に挑戦しました。

今回のメニューは、キノコの炊き込みごはんとかコーンチャウダースープ。牛乳

などに米粉を溶かして温めるだけでとろみがつき、のごしめよく栄養価も高いため、災害時の非常食にも

公民館主催講座 DIY講座

11月15日(水)糸田の「山ぼうしの樹」で、「シニア世代の講座」の「DIY講座」を開催しました。講師は「山ぼうしの樹」にギャラリーを持つ樹子工房(KICO)の森川瞳さん。また、米粉の使い方やレシピを聞きました。調理に続いて「こうさも元気活動推進事業」として、子ども会を中心に自分たちの住む地域の災害危険箇所や避難所までの経路など、手作りの「防災マップ」を完成させました。その後、みんなで出来たての料理と一緒に食べながら、地域の親ばくを図りました。



▲木材を使って飾り棚を制作する参加者たち

今回の作品は、ナチュラル感たっぷりの飾り棚。カットしてある木材を使って、模様や色の合わせ方を考えながら金づちでいきま打ち付け組み立てていきます。「トントントン」と響き渡る音、おしゃべりと笑い声、暖かな日差しの中、芸術の秋を満喫しました。

んで、参加者は14人。秋色づく木々の中、庭にテールを置いてのアウトドア講座でした。

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

●災害と人権③

内閣府の世論調査でも、震災や原発事故が原因で発生している人権問題として「職場、学校などで嫌がらせやいじめを受けること」という回答が20%近くありましたが、平成28年11月、東京電力福島第一原発事故で福島から自主避難していた生徒がいじめを受けていたことが明らかになりました。

この生徒は、自主避難先の小学校(当時通学)で、差別的なあだ名で呼ばれたり、暴力を受けたり、友人が遊ぶための現金を払わされたりし

ていたと報道されています。避難者を受け入れている別の自治体でも、同様のいじめが発生していることが明らかになりつつあります。

また、避難者を指して「〇万円(賠償金の額)で生活している」などと噂をされたりするといった報道もあっています。

放射線被ばくや、被災者・避難者に対する賠償金などに関する誤った理解や無関心が、上記のような問題につながっている可能性もあります。こうした誤った理解や無関心は、東日本大震災に起因する人権問題だけでなく、他のあらゆる人権問題を

引き起こしている要因でもあります。正しい情報や知識に基づいて、自分自身で考え判断することが大切です。

熊本地震で被災し、県外へ一時避難した方や、今も県外に避難している方が大勢いらっしゃいます。熊本は、津波被害や原発事故のような複合的な災害には至りませんでした。それでも、地震を経験して、被災者の立場からこの問題を考えられるのではないのでしょうか。熊本地震、東日本大震災をはじめとした災害と、その時に起こりうる人権問題について再度考えてみましょう。

「コッコロ通信」より

Library

町生涯学習センター図書室からの12月のおすすめ図書

今年のノーベル文学賞受賞者作品 カズオ・イシグロ著 / 『日の名残り』



早川書房
小説

品格ある執事の道を追求し続けてきたステューブンスの物語は、失われつつある伝統的な英国を描いて、世界中で大きな感動を呼び、英国最高文学賞であるブッカー賞を受賞しました。丁寧に紡がれた文章は静かで心地よく、読後、深い余韻とともに、美しい夕景が胸にあふれます。たくさんの方に読んでいただきたい名作です。

しあわせなクリスマスの絵本

ふくざゆみこ作 / 『モモンガのいたづらさんとクリスマスのおとしもの』



文芸春秋
児童書

クリスマス前のある日、サンタさんの家わからず困っていたモモンガの配達屋さんのところに、だいいなものとしてしまっていて泣いているトナカイさんが現れます。森のみんなに落し物のことをたずねますが…。あたたかいお話とかわいらしい絵がとても魅力的で、子どもだけでなく、大人もしあわせな気持ちになれる絵本です。

希望と感謝の最後のメッセージ 日野原 重明著 / 『生きていくあなたへ』



幻冬舎
一般書

「人間は弱い。死ぬのは僕もこわいです。105歳の医師・日野原重明氏が、2017年7月に亡くなる直前まで語った最後のメッセージ。2016年年末から始まった本書のインタビューは、時にはベッドに横たわりながら20時間以上も行われ、死と生、病と健康、出会いと別れなどなど、人生の深淵について語られています。心揺さぶる1冊です。

グルテンフリーのおやつレシピ集

森崎 蘭香著 / 『小麦粉なしでつくるたっぷりクリームのおやつ』



日東書院本社
教養娯楽

小麦粉なしとは思えない、味も見た目もおいしいおやつ。自分でアレンジできる5つの基本の生地と、24種類の魅力的なクリームレシピ、さらに小麦粉なしだけでなく、卵なし、乳なしなどもレシピごとに表示。体質に合わせたメニュー選びができるので、安心しておやつを楽しめます。今年のクリスマスパーティーにぜひお役立てください。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

僕がおすすめする本は、『犯人のいない殺人の夜』という本です。

僕はこの本の中の「小さな故意の物語」という話を読んでほしいと思いました。この話は、死んだ親友が自殺ではないことを証明するために親友の彼女と一緒に行動して、犯人を見つけようとする話です。

今月の案内人



渡邊 伊吹さん
(岩下一区)

この話で僕が面白いと思った部分が、犯人とされている人や、親友が死んだ原因に関わっている人が、小さな故意によって行動

～ My Favorite Story ～ 私のおすすめ図書

『犯人のいない殺人の夜』(東野 圭吾著)
運が仕立てた殺人。運命が犯した殺人。様々な要素が絡み合いながら「殺人」に対する明確な意図や動機が存在しない、7つの殺人事件が描かれた短編集。

した結果、人一人を殺すという事になってしまったところ。僕も、小さな故意によって、友達を傷つけてしまった経験があるので、この話に出てくるキャラクターの心情にとっても共感することができました。

また、ちょっとした一言や行動でも、人を傷つけることができると思っただけで、普段から気を付けていこうと思っただけで、

とても面白いので、ぜひ読んで下さい。

●あなたの「おすすめ図書」をご紹介してみませんか?
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)